

若手職員による名古屋空港見学者受入拠点施設 特別検討チーム(PT)の編成



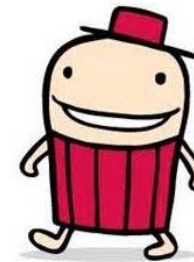
振興部
航空対策課

1

振興部 航空対策課

航空対策の総合的な企画調整に関すること
中部国際空港に関すること
名古屋飛行場に関すること を所掌

centrair



2

職場の課題①

新たな事業 = 県営名古屋空港
見学者受入拠点施設の整備



展示コンテンツについて
今までの航空博物館とは違う魅力
リピーターの確保



従来の考え方と違う
若い発想での検討の必要性

3

職場の課題②

若手職員の業務はルーティンワークが多い



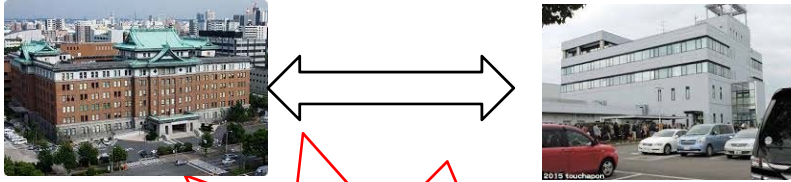
企画力・発表力
が向上しない!



4

職場の課題③

現場(県営名古屋空港)がある
職場が**本庁、空港事務所**に分かれている



**職員間の
コミュニケーションが
とりづらい!**



目標

課題

- ①新規事業への新たな発想の必要性
- ②若手の企画、発表のスキルが向上しない
- ③職員間のコミュニケーションがとりづらい



- ①見学者受入拠点施設の展示コンテンツ案の作成
- ②起案、検討、発表を若手職員だけで実施
- ③職員間のコミュニケーションの向上

取り組み

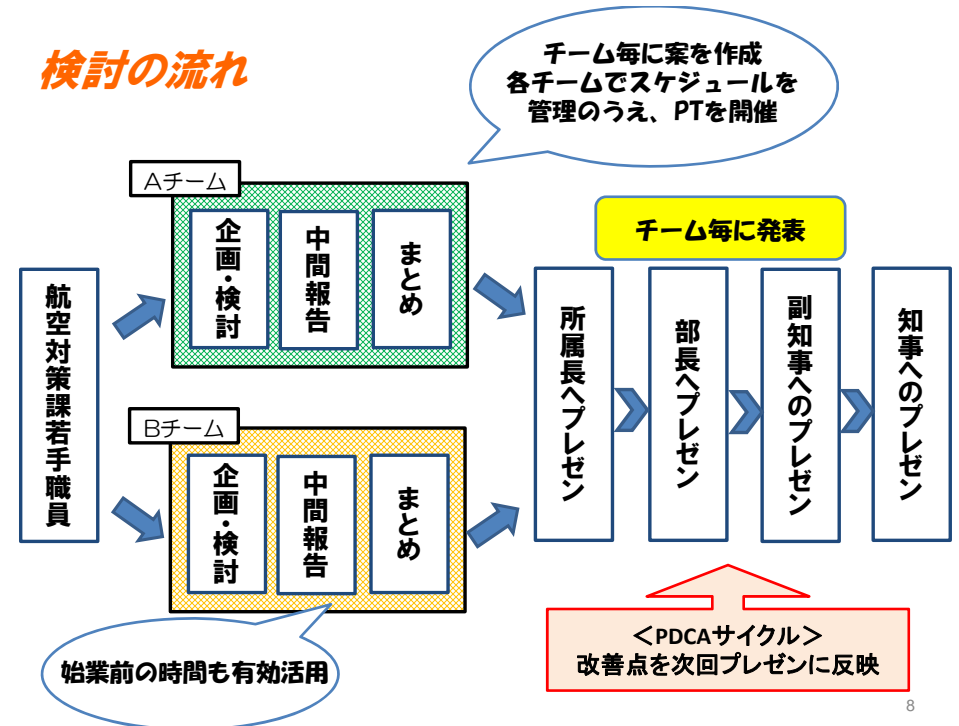
若手職員
による!

名古屋空港見学者受入拠点施設
特別検討チーム(PT)の編成

若手の柔軟な発想を活かした
展示コンテンツを検討



検討の流れ



他施設の視察

また来たい！と思われるコンテンツ作りへ向け
展示内容、コンセプト、リピーター対策等を視察

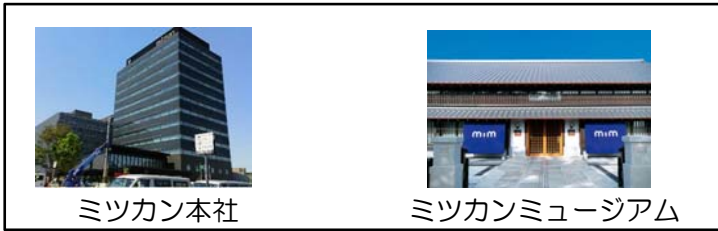
トヨタ博物館訪問



トヨタ博物館

説明を受ける職員

ミツカン本社訪問



ミツカン本社

ミツカンミュージアム

9

知事へのプレゼン資料

Aチーム



Bチーム



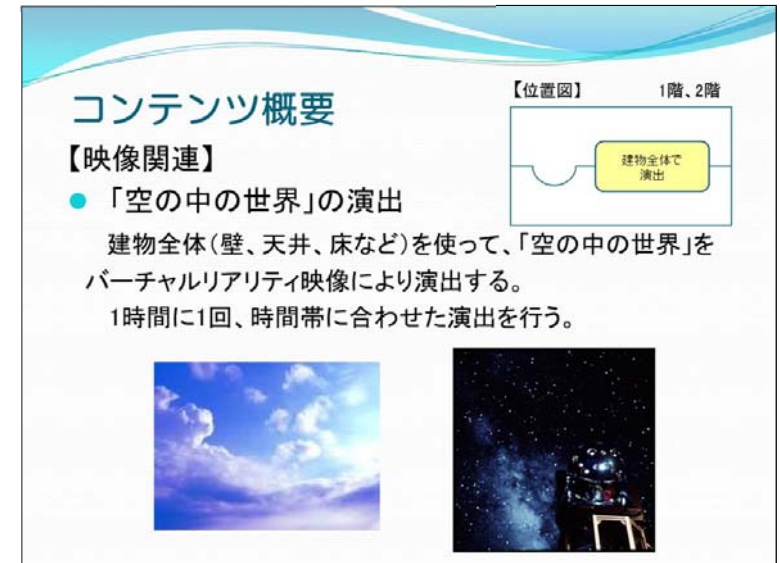
10

Aチーム コンテンツ案(抜粋)



11

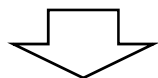
Bチーム コンテンツ案(抜粋)



12

成果・アピールポイント①

若手で何度もミーティングを開催
幹部職員へのプレゼンテーションを実施



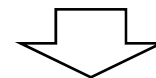
企画力、提案力、説明能力が向上
職員間のチームワークが強化

★事務の企画・進行管理 ★事業関係者への提案、折衝 ★上司への説明
★円滑なグループ間の協力体制 etc.

13

成果・アピールポイント②

コンペ方式(2チーム制)で活動
(Aチーム6人、Bチーム5人)



各チームから**多様なアイデア**が出現
少人数のため、**一人一人が活躍**

★萎縮せず自由なアイデア出し ★ブレインストーミングの活用 ★役割分担
による効率的な業務の実施 etc.

14

感想①

Aチーム 後藤主事

- 通常業務の合間を縫ってPTを進めることは容易ではなかった。
- しかし、検討を重ねるごとに発表の質が高まり、チームの絆も深まった。



15

感想②

Bチーム 清水主事

- 入庁して3か月で知事の前でプレゼンをするなんて想像していなかった。
- 非常に貴重な経験になり、考える力や伝える力が鍛えられた。



16

終わりに

作成した案の**実現可能性の検討**を進め、「県営名古屋空港見学者受入拠点施設コンテンツ検討会」での議論を踏まえ、展示コンテンツの具体化に向け検討を進めていく。



若手職員は、向上した**企画力・提案力**や、強化された**チームワーク**を活かして、業務に邁進する。



17

ご清聴ありがとうございました



18

マンデイ・ミーティングによる 計画的な会議資料作成

環境部 自然環境課
生物多様性保全グループ・生態系ネットワークグループ

環境部 自然環境課

自然環境・生物多様性の保全などを所掌

生物多様性保全グループ (H23~)
生態系ネットワークグループ (H21~)

班員9名



《主な業務》

- ・ あいち生物多様性戦略2020の推進
- ・ 国連生物多様性の10年の関連事業
- ・ あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業(森と緑の育成活動事業)
- ・ 生態系ネットワークの形成の推進
- ・ 生態系の調査の実施
- ・ 自然環境の保全と再生のガイドラインの推進



生物多様性条約第10回締約国会議 (CBD-COP10 2010年10月)

あいち生物多様性戦略2020

戦略計画2011-2020(愛知目標)の達成をめざし、
2013(平成25)年3月に策定

本県独自の取組
「あいち方式」



あいち生物多様性戦略2020

あいち生物多様性戦略2020推進委員会
⇒ 戦略の推進方法と進捗状況の評価等の検討

【具体的な検討事項(第5回推進委員会:2015.7.22)】

- 「自然環境の保全と再生のガイドライン」の試行結果(あいちミティゲーションの課題整理と今後の方向性)
 - 回避・最小化・代償(区域外)に係る試行件数・反映件数
 - 定量評価システムによるポイントの検証 (ネットワーク・B)
 - 専門家の現地派遣による開発事業者への指導状況 (保全・A)
 - 業界団体への説明状況 (保全・C、D)
- 生態系ネットワーク協議会の実績と今後の課題(協議会構成員の活動状況)
 - モニタリング活動の状況と今後の進め方(ネットワーク・E、F)
 - 生息生育空間(緑地・ビオトープ等)の整備状況(ネットワーク・G)
 -などなど
- あいち生物多様性フォーラムの開催概要(保全・H) ※A~Hは担当者

職場の課題

- 資料作成のペース配分がつかみにくい
- 何度も手直しが入り、完成がいつも会議ギリギリ
- 見直しが十分にできず、不満が残る
- 職員の残業時間の増加につながる

- ◆ 計画的な資料作成による作業時間の短縮
- ◆ 仕事内容の相互理解により、協力体制を強化

目標

2グループ・班員9名の合理的な役割分担と円滑な協調体制
 ⇒ゆとりを持って会議に臨む
 明確なスケジュール管理に基づく共通のゴールを設定
 ⇒一体感を創出し、チームワーク向上

5

会議開催までのロードマップ ～計画的な会議資料の作成～

議題ごとに作業、担当、到達目標を設定

毎週原則月曜日にミーティング

議題	作業	担当	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13	7/20
1 あいも方式（ガイドライン）に係る試行的総括 ① 定置評価システムの地域情報と課題・検証 ② 大規模行為届出制度の運用見直し（ガイドライン改正）及び今後の対応	定義評価の検証	近藤	検証結果説明問題点の整理	会議資料のコンセプト検討	会議資料作成					
	ミーティングセッション試行事例（台帳）の時点修正	山下	大規模の台帳の整理	着手後または事業完了後の状況確認（抽出は近藤主査へ依頼）	台帳完成					
	H27改正の概要と今後の運用に対する対応案の検討	近藤		改正の概要資料作成		資料作成				
	自然公園区域への適用拡大	関	適用範囲の考え方、指導方法などの草案作成							
(3) 生態系ネットワーク形成の進捗状況	有識者の現地派遣に係る実績一覧表作成	山下	会議資料のイメージ検討		会議資料作成					
	定期的なモニタリングの進め方（金費及び各協議会単位）	英住南堀江	短多NWなど取組整理（富士速クラウド生物調査、キツネの想定分布域の変化等）							
	協議会事務局運営、組織体制、資金面等	神尾	課題抽出		会議資料作成					
(4) 域外代理の実績づくりに向けた対策	名古屋市との連携	英住南神尾	名古屋市と意見交換（連携方向の確認）							
	豊山バンキング（豊山リスト）に対する課題整理	関	バンキング制度導入に向けたこれまでの検討状況及び課題整理							
2 在業務の継続より採用率の劣る理地配慮型工法、緑地の配置変更への対応	業務継続への要否、働きかけの状況等（事業主への説明後、依頼数取組の実績含む）	関	これまでの実績整理及び取りまとめ（会議資料作成）							
	企業インセンティブの提案	関	企画書作成（会議資料作成）							
3 現地視察の企画案	優良事例集の作成事業等の作成	関	事例集のコンセプト検討							
	視察ルート企画案の作成（できれば複数案）	関								
4 フォーラムの開催案内及び概要説明	7協議会への事例発表の働きかけと発表者の調整	関本	各地区協議会担当を通じて事例発表の依頼		発表団体の調整・内定					
	戦略2020の数値目標に対する進捗状況と計画の目標修正の検討	山下			会議資料のイメージ検討					
6 推進委員会の会議資料作成の進行管理	月曜ミーティングの議題管理と会議進行	大野 山下								
	検討委員会などへの説明等									

会議3週間前には素案完成

【参考】実際の日程
 7/6 会議資料(案)・最終確認
 ↓
 7/9 部3役レク
 ↓
 7/13 戦略推進委員会副委員長レク
 ↓
 7/16 推進委員会・委員長レク

アピールポイント

毎週月曜日という到達目標の設定（＝細切れ化）により、ペース配分を可視化し、計画的な資料作成を実現

各事業のセールスポイントなど相互の情報を共有、問題点に対する改善ポイントの享受などによるチームワークの向上

2Gのスタッフの超過勤務時間数合計（会議開催前1か月）
 第1回196:00、第2回199:45、第3回171:30、第4回200:00

第5回（今回）55:50

終わりに

- 結果的に不採用になった資料もあり、よりよい手法を検討
- 次回以降の推進委員会はもとより、類似のケースにも応用

7

御清聴 ありがとうございます

環境部では、今年12月に開催されるCOP13において「愛知目標」の達成に向け、生物多様性の保全に先進的に取り組む海外のサブナショナル政府と連携・協働し、国際先進広域自治体連合（仮称）の立ち上げをめざしています。



8

DocuWorksのリンクボタンを活用した「経理・契約ハンドブック2015」の作成

農林水産部新城設楽農林水産事務所
総務課経理・契約グループ

1

新城設楽農林水産事務所

農林水産部の総合的な地方機関

所在地：北設楽郡設楽町

所管区域：新城市、東栄町、設楽町、豊根村

総務課経理・契約グループ 班員4名

事務所における
予算・会計、
入札・契約等
を担当



2

班員の現状

27年度	26年度	25年度
課長補佐	← 課長補佐	← 課長補佐
主査	← 主査	← 主任主査
← 採用2年目	← 採用2年目	← 主査
← 新規採用	← 新規採用	← 新規採用

ここから見えてくる、課題は・・・

3

取組内容：「経理・契約ハンドブック2015」の作成

キーボードの「Ctrl」を押しながら、マウスのスクロールボタンを回すと、画面表示の拡大・縮小ができます
新設楽農林水産事務所 総務課 経理・契約G
平成27年9月30日現在 (Ver. 1.00)

取組の使い方はこちら → 使い方

監査・指導検査関係

農林水産部 約款・心得

農林水産部 工事・委託契約要綱 (入札・契約)

農林水産部 工事・委託契約要綱 (指名競争)

電子入札画面操作例 (新設楽農林バージョン)

おまけ 「附随資料」などを一括サイズの電子
(PDF形式) で印刷する方法

事務局監査における注意事項

№	内容	表示
1	平成20監査年度(平成19年度対象)定期監査(事務局監査)における注意事項	表示
2	平成21監査年度(平成20年度対象)定期監査(事務局監査)における注意事項	表示
3	平成22監査年度(平成21年度対象)定期監査(事務局監査)における注意事項	表示
4	平成23監査年度(平成22年度対象)定期監査(事務局監査)における注意事項	表示
5	平成24監査年度(平成23年度対象)定期監査(事務局監査)における注意事項	表示
6	平成25監査年度(平成24年度対象)定期監査(事務局監査)における注意事項	表示
7	平成26監査年度(平成25年度対象)定期監査(事務局監査)における注意事項	表示
8	平成27監査年度(平成26年度対象)定期監査(事務局監査)における注意事項	表示

№	内容	表示
1	収入	表示
2	支出	表示
3	契約	表示

平成27監査年度(平成26年度対象)定期監査(事務局監査)における注意事項

1 収入
 (1) 収入の納期限の算出方法を誤認していたもの(合規性)
 <事例>
 児童扶養手当の決定において、決定済とした日(期日)を収入で納期限を定めていた。
 <指摘内容>
 財務規則で定めるところの決定をした日から18日以内という日は、前日不収入で算出した日である。支出の場合の支払期限は、政府契約の支払遅延防止等に関する法律の運用方針により前日収入で算出することとなっているため、注意すること。
 <原因>
 収入の納期限は、前日不収入で算出していることを認識してなかった。
 <指摘事項>
 民法第109条(普通計算による期間の起算日)、財務規則第29条(収入の納期限)を踏まえ、収入-8 問2及び問3を修正する。
 (2) 経費実績簿の様式を誤っていたもの(合規性)
 <事例>
 入学検定料の収入は、入学金と見なされ、その収入事務は、入学金の納付の都

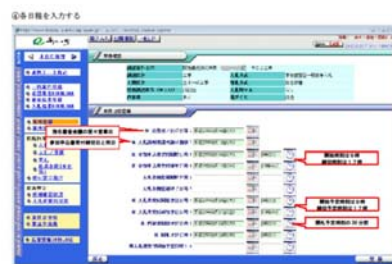
(期間の起算)
 第百三十九条 期間の計算方法は、法令若しくは裁判上の命令に特別の定めがある場合又は法律行為に別段の定めがある場合を除き、この章の規定による。
 第三十九条 期間によって期間を定めるときは、期間の初日は、算入しない。ただし、その期間が午前零時から始るときは、この限りでない。
 第四十条 日、週、月又は年によって期間を定めるときは、期間の初日は、算入しない。ただし、その期間が午前零時から始るときは、この限りでない。

(契約の変更又は解除)
 第116条 契約の全部、または一部の履行が変更し又は解除されたときは、その変更又は解除の日から起算する。ただし、その期間が午前零時から始るときは、この限りでない。

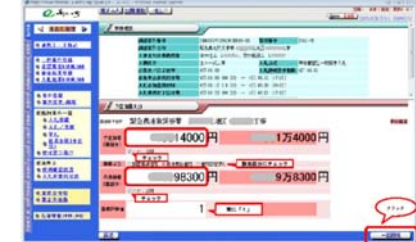
(収入の特例)
 第115条 収入の納期限は、法令又は裁判上の命令に特別の定めがある場合又は法律行為に別段の定めがある場合を除き、この章の規定による。
 (収入の特例)
 第115条 収入の納期限は、法令又は裁判上の命令に特別の定めがある場合又は法律行為に別段の定めがある場合を除き、この章の規定による。

③「固定した日」
 与定された日(日、月、日、月又は年)によって期間を定めるときは、期間の初日は、算入しない。ただし、その期間が午前零時から始るときは、この限りでない。

電子入札画面 操作例



③手続料、条件情報、監査詳細情報を入力し、各項目をチェックを入れたら「確定」をクリックして、「印刷」をクリック



⑤内容確認と入札情報に間違いのない状態の「事後監査」にチェックを入れ、「連絡事項」欄に必要事項を入力したら「状況登録」をクリック



⑦連絡事項の入力内容(「監査詳細情報」の入力者は、〇〇です)、本入札は事後監査方式であるため、査札締結者の入札参加資格の審査を行い、後日開札を決定、通知します。

アピールポイント

エクセルのマクロ機能などと違い、特別なスキルは不要！ ⇒ 誰でも容易に加除修正できる！

DocuWorksでメニュー画面を作成し、リンクボタンを張る手法
 ⇒ 電子的な文書を整理し、検索を容易にする必要のある全ての業務に応用できる！

今後の課題

常にデータの更新を行い、風化させることのないようさらに進化させていきたい。

平成27年度
第1回 あいちグッドジョブ大会

QC的問題解決手法を用いて 知の移転を試みた県・市町村の 「都市計画の案の理由書」の作成改善

平成28年2月

建設部都市計画課
土地利用計画グループ

現状、課題、目標

「都市計画の案の理由書」作成の現状、課題、目標

- 現状**
- ◆ 具体的な記載方法の規定がなく、市町村ごとにバラツキがあり、わかりにくいものが多い。
 - ◆ 県の市町村指導、市町村の理由書作成事務で負担となっている→わかりやすい記載方法の事務改善要望が寄せられていた。

課題 しかし、上位計画との整合性、都市計画の必要性、規模の妥当性などの都市計画手続き上の理由を説明する必要もあり、その内容はわかりにくい。どうわかりやすく示すかが課題

- 目標**
- ①わかりにくい理由を分析し、わかりやすい「都市計画の案の理由書作成 解説書」を作成する（事務負担軽減）。
 - ②検討過程を活用し、職員の技術力向上、業務の組織力向上につなげる。

取組内容と成果 検討会の発足

H26年度「都市計画の案の理由書」検討会を発足

検討会メンバー

番号	市町村名等	番号	市町村名等
1	瀬戸市	8	西尾市
2	愛西市	9	豊橋市
3	長久手市	10	豊川市
4	飛鳥村	11	愛知県建築指導課
5	武豊町	12	愛知県住宅計画課
6	豊田市	13	愛知県都市計画課
7	みよし市		

番号	日付	打合せ 検討会等	主なメンバー	備考
1	H26.5.19	第1回	県都市計画課内	
2	H26.6中旬	第2回	県都市計画課内	
3	H26.6中旬	第3回	県都市計画課内	
4	H26.7下旬	第4回	県都市計画課内	
5	H26.8.25	第5回	県都市計画課内	
6	H26.9.3~ H26.9.10	アンケート調査	検討会市町村	
7	H26.9.19	第6回	県都市計画課内	
8	H26.9.25	第1回検討会	検討会メンバー	発足
9	H26.11.14	第7回	県都市計画課内	
10	H26.11.25	第2回検討会	検討会メンバー	
11	H26.12.12	第8回	県都市計画課内	
12	H26.12.15	第9回	県都計 課内調整	
13	H26.12.19	第3回検討会	検討会メンバー	
14	H27.3.3	説明会	県都計、建設事務所 市町村	

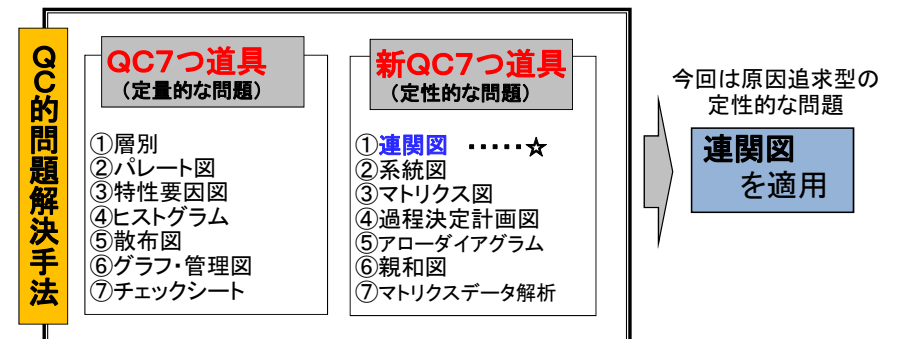
* 都計打合せ9回、検討会3回
アンケート1回、研究会発表1回、説明会1回

取組内容と成果 QC的問題解決手法の適用（1）

「都市計画の案の理由書」がわかりにくい、という問題を、 どう解決するか？

当問題の特徴

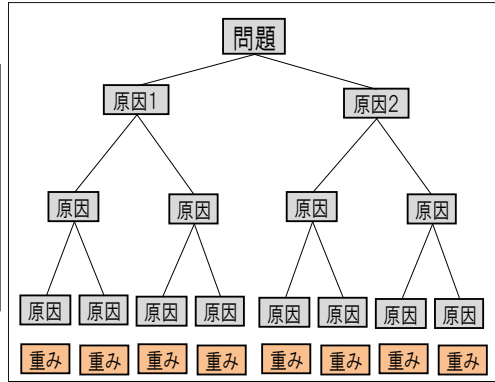
- ・「わかりにくい」原因は、論理構成が不十分など様々で、その原因にはさらなる原因がある。
 - ・原因は、統計的なデータなどで分析することができない（**定量的でなく、定性的な問題**）。
- など



取組内容と成果 QC的問題解決手法の適用（2）

【新QC7つ道具】 連関図

【新QC7つ道具】 連関図
 連関図とは、原因と結果などの関係が複雑に絡み合っている場合に、図解によりわかりやすく表現したものの。



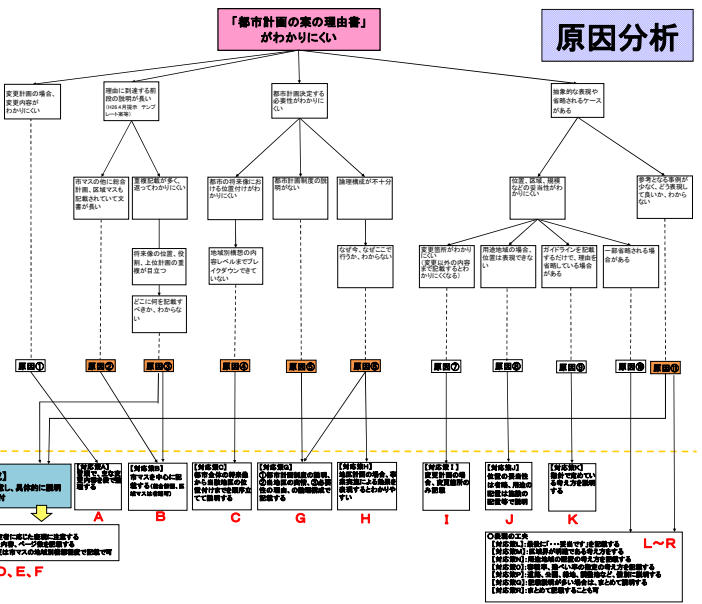
【連関図】

市町村からのアンケート、検討会、県都計課の意見を参考に、「都市計画の案の理由書」がわかりにくくなっている原因を連関図により分析し、対応策を検討した。

取組内容と成果 QCの問題解決手法の適用（3）

【A~R】 連関図

【A~R】
 「理由書作成上の注意事項」として解説
 特に重要度の大きい原因



取組内容と成果 知の移転

【知の移転】

【検討会で議論】
 どのように記載すると良いのか
 どのように水平展開していくと良いのか

知識(ナレッジ)の種類
暗黙知: 経験など文章などにより表現できない知
形式知: 文章などにより表現されている知
個人知: 個人のもつ知
組織知: 組織全体で共有している知

【今回の狙い】

「都市計画の案の理由書」を作成、検討したことのある担当者は、ノウハウやスキルが高く、問題意識をもっている。しかし、経験から学んだナレッジの多くは暗黙知にとどまっている。
 そんな暗黙知を、目でわかる解説書として形式知に置き換え水平展開していくことで、暗黙知→形式知、個人知→組織知(さらに個人知UP)、へと相互に展開し、職員の技術力向上、業務の組織力向上を目指す。

取組内容と成果 成果のまとめ

H27. 3月 「都市計画の案の理由書作成 解説書」を作成

- 理由書の改善効果**
- ① 目でわかる解説書を作成した
 - ② 記載内容がわかりやすくなった。
 - ③ 時間短縮、作業の効率化が図られた。
 - ④ 効果確認は実務を通じて確認できた。 など

◆理由書に対する市町村の取組姿勢が向上



*縦覧：市マスを置き、該当箇所に付箋を貼るなど、取組姿勢が向上

- 職員の技術力向上、業務の組織力向上**
- ① QC的問題解決手法を活用した取組、解説書を説明
 H27.2月 都市計画研究会発表会 → 情報提供
 H27.3月 土地利用計画説明会 → 情報共有
 - ② 暗黙知→形式知、個人知→組織知へと相互に展開
 ⇒ 職員の技術力向上、業務の組織力向上が図られた。

継続的改善（残された問題点等、その後の対応）

残された問題点

H27.3月 解説書

検討直後は、時間的制約があり理由書の事例が少ない
⇒検討した代表事例のほか、過去の理由書を題材に改善案を作成し、多くの参考事例を掲載（当時の工夫）。

- ・参考事例は実際の都市計画事例とは異なっている
 - ・約1年が経過し、改善した方がよい事例もある
- ⇒継続的改善 ⇒ 参考事例の更新

継続的改善

H28.2月 解説書改正予定

- ・実事例を参考事例として更新（H27.3月以降の事例）し、解説書の改正を予定
- ・新たに都市計画事務担当者に浸透、水平展開させ、情報提供、情報共有を図る

H27.3月 解説書

参考**16事例**を掲載
(過去の理由書を改善し多く掲載)
⇒当時の工夫

H28.2月 改正予定

参考**24事例**を掲載
(質と量のレベルUP)



尾張東部式OJT

Team Ojisan QC

企業庁愛知用水水道事務所
尾張東部浄水場

1

尾張東部浄水場

場所 . . . 日進市米野木町

班員 . . . 17名

勤務体系 . . . 交替勤務で24時間365日、（東郷町にある
工業用水の浄水場とともに）運転管理

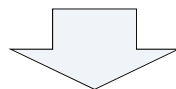
給水エリア . . . 瀬戸市、豊明市、日進市、みよし市、長久手市、
東郷町及び西三河地域の一部



2

職場の課題

OJTで教えるべき浄水場の運転管理に必要なスキルが
明確でない。（ばらつきがある）



先輩職員

- ・誰がどこまで習得したか把握できない。
- ・何を教えたら良いかまよう。

新人

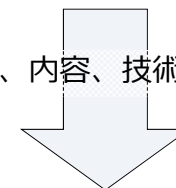
- ・何をいつまでに覚えたら良いかわからない。
- ・異常時の対処方法がわからない。慌ててしまう。

3

活動の目標

浄水場の運転管理に必要なスキルを見える化

OJT実施目標、内容、技術レベルの把握



運転管理能力のレベルアップと均一化を図る。

4

活動内容

◆ 必要なスキルをチェックリスト化

実施	項目	内容	説明	実施	自己評価
3か月		電線は気象状況や曜日などの要件を把握して適切にできる。	浄水場、調整池及び供給点の高水位と単位水位当りの容量の把握。	○	4
3か月		電線に余裕を確保し必要に応じて水位を適切にできる。	送水ポンプ及び中継ポンプの送水量の把握。	○	3
3か月		電線に余裕を確保し必要に応じて水位を適切にできる。	浄水場、調整池及び供給点の高水位と単位水位当りの容量の把握。	○	2
3か月		電線に余裕を確保し必要に応じて水位を適切にできる。	送水ポンプ及び中継ポンプの送水量の把握。	○	5

習得時期の目安
 3か月:交代勤務可能
 1年:事故時の一次対応
 3年:再発防止を含む対応

5段階で評価
 5:指導できる
 3:過不足なく実施できる

◆ OJT計画書



◆ ブラザー制の導入



5

活動内容

◆ 過去事例集作成

過去に起きた事故事例を若手に伝えるために過去事例集を作成レビュー会を開催し、当日勤務だったらどう行動するか発表する。また、どのように対処すれば被害を最小限に抑えられるか、討議する。



◆ リアル危機管理訓練

実プラントを使用し実際に異常を発生させ、対処する訓練を実施。

6

アピールポイント

浄水場運転管理に必要なスキルが明確化し、それぞれが取り組むべき課題が明確になった。

現実に想定される危機管理訓練を繰り返すことにより、実際の危機に遭遇してもあわてず対処ができるようになった。

終わりに

効果的に知識・技術の伝承を行うことができ、全体のレベルアップと組織機能の維持に効果があった。

入念なリアル危機管理訓練を繰り返すことにより、ライフラインの強化へとつながった。

7

授業料関係事務の手引きの作成

愛知県立学校事務職員協会
研究専門グループ」

愛知県立学校事務職員協会

県立高等学校及び特別支援学校の事務職員で組織。学校事務の研修及び研究活動を推進。

研究専門グループ

毎年1班を立ち上げ、2年間をかけてテーマを研究。グループ」は「授業料関係事務の手引きの作成」について検討・研究。



課題

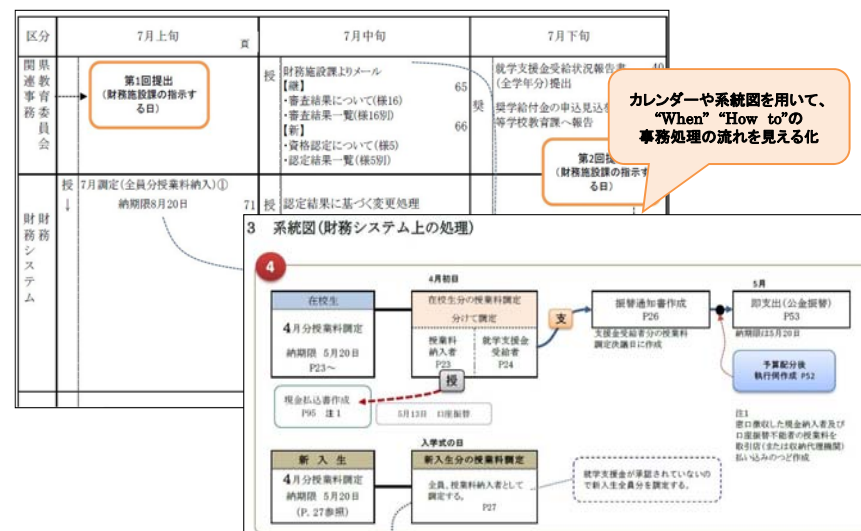
- ◆ 新制度に即した事務処理の一元化、見える化
- ◆ 正しい制度理解とピーク期の平準化対策

制度変更にもとない複雑な事務処理が発生した
⇒新制度の作業工程見える化と理解
処理締め切り時間までの対策と平準化

目標

新制度に即した手引書を作成する
作業工程を見える化する

取組内容： 研究専門グループによる手引きの作成



取組内容： 研究専門グループによる手引きの作成

財務システムの入力画面や出力帳票、また記入例を示し、初めての担当者でも間違いない構成

授業料及び就学支援金に係る設定のシステム区分コードは全て

納入義務者 2重線で強調する
全日制2年生 ○○○○締め20名

納付目的 独立学校授業料

摘要 4月分授業料 2年生 20名 × 9,900円 = 198,000円

金額 198,000円

納入通知書発行 平成27年 4月 1日

納期限 平成27年 5月 20日

手書き

手書き

アピールポイント

高等学校 149校の事務処理が同一化できた。
効率性、正確性を高める仕組みづくりができた

2,235時間削減 = 5時間 × 3ヶ月 × 149校
(1校あたり一ヶ月平均5時間の時間削減を図れた)

終わりに

後任チームへ漏れのないスマートな引き継ぎと
必要に応じての改訂を継続する



人命救助セットのチューニング

愛知県警察本部
警備部機動隊

1



救助を求めています

2

安全確実な救助が求められる

船上からの救助

人命救助活動には**スピード**も当然求められる

ヘリコプターによるホイスト

そこで有効な資機材となるのは…

人命救助セット(救命索発射装置)



人命救助セットとは…

圧縮空気を充填した弾頭を飛ばし、命綱となる救命ロープ(救命索)を要救助者のもとへ届ける資機材

4

従来品の課題 ①

救命索のたわみ

効率よくロープが伸びない

弾頭に簡易ボンベ付の救命浮環を収納

弾頭部分に重量があり、飛ばすには抵抗となる

⇒ 失速し目標に届かないことも



5

従来品の課題 ②

救命索の絡まり

発射の際、ロープにねじれ、絡みが発生することも

ロープの収納方法に原因が...

まとめて収納ボックスに入れるだけ

⇒ 送り出しが安定せず確実性に欠ける



6

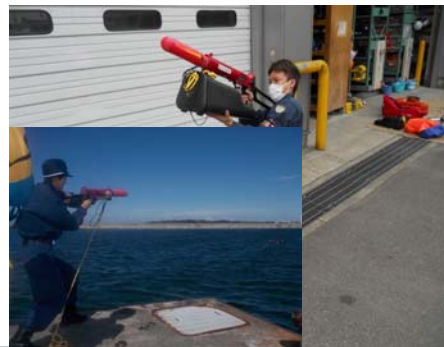
従来品の課題 ③

重量

重量のあるものを持ち上げるので体勢が不安定となり、狙いが定めにくい

構えが安定せず、銃口が下がる傾向が

⇒ 目標から外れる、届かない



ロープの回収

ロープの回収は手作業

絡み、ねじれがないよう慎重に収納箱に入れる必要がある

⇒ 2発目を準備するまでに時間がかかる

7

水難救助現場では迅速確実な対応が不可欠
失敗が許されない場面での使用が想定される

今回の取り組み目標

先述の課題を全て解消

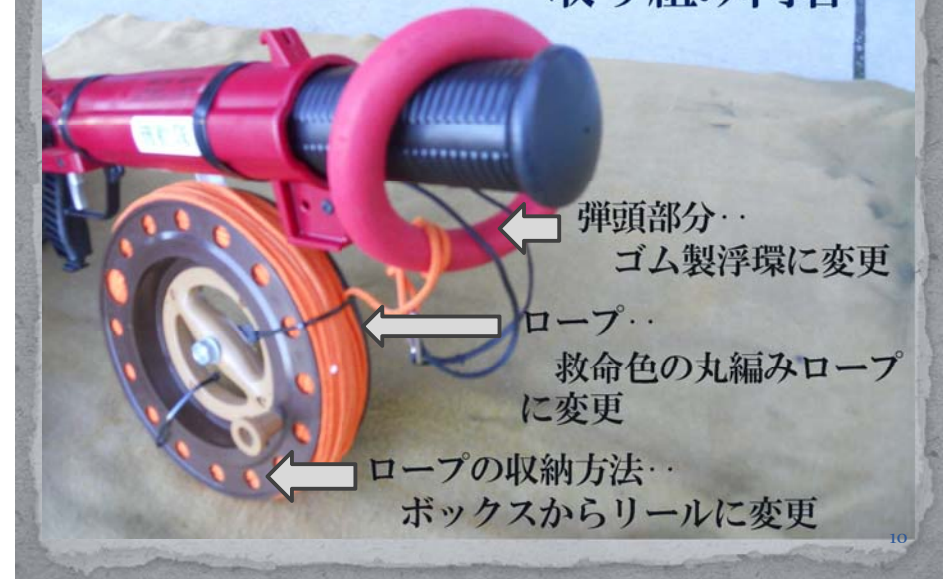
- 操作性の向上
- 飛距離・確実性の向上
- 作業効率の改善

取り組み成果



9

取り組み内容



10

改善点① 操作性の向上

軽量化

狙いの安定化



11

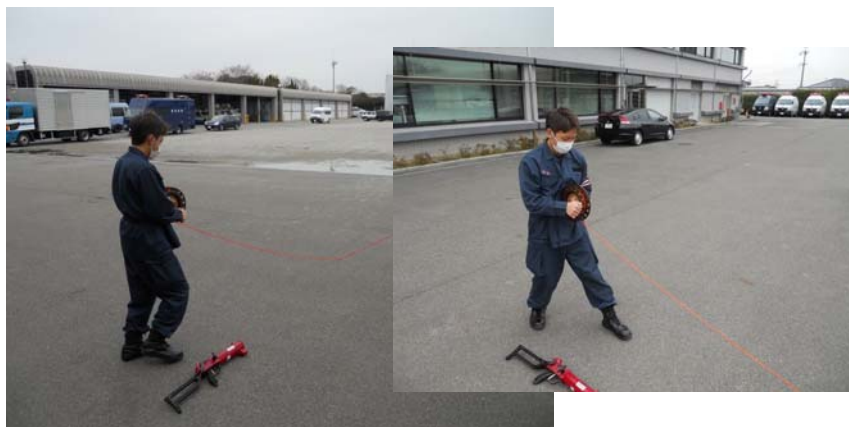
改善点② 飛距離・確実性の向上

リールの回転運動によりロープの送り出しが安定
たるみ、ねじれがなく、確実に狙った場所へ一直線に伸びる
弾頭部分の軽量化により、抵抗が少なく飛距離アップ



改善点③ 作業効率の改善

ロープの回収をリールの巻き取り方式に変更



スムーズかつ確実な回収、大幅な時間短縮を実現

→ 万が一2発目が必要な場合にも迅速な対応が可能

13

*おわりに



万が一、救助事案が発生した際には

○「迅速」「確実」な救助

○「一人でも多くの要救助者」の救助
を実施、達成したいと考えている。

14